

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (教育学)	氏名 Author	河 原 太 郎
学位授与の要件	学位規則第4条第1・②項該当		
論文題目 Title of Dissertation 学習到達度調査と授業分析に基づくバングラデシュの初等理科教育に関する研究			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member 主 査 Committee Chair 広島大学大学院国際協力研究科 教授 清水 欽也 印 Seal 審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科 教授 馬場 卓也 審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 中矢 礼美 審査委員 Committee 広島大学大学院教育学研究科 准教授 松浦 拓也 審査委員 Committee 広島大学 名誉教授 池田 秀雄			
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review 本論文は、バングラデシュ共和国の初等教育段階における理科教育の実相を、児童の学習到達度および実際に教師が行っている授業を分析することにより明らかにするものである。これまで、同国においては、実証的なデータに基づき、客観的な分析指標を用いた定量的な視点から明らかにする分析は行われておらず、その点から非常に貴重な研究である。 第1章では、国際的な視点からバングラデシュの理科教育の課題について、国際比較調査問題を用いた学力の測定や授業の詳細かつ客観的な分析が行われていないという点を明らかにした。第2章では、理科教育における国際比較調査および授業分析に関する先行研究を整理し、その手法に関する分析・検証を行った。第3章では、国際的な理科学習到達度調査の項目を用い、同国の児童の学習到達度の実相とそれに関わる要因について明らかにした。そこでは、特に児童の推論能力の問題が特に顕著であることが明らかにされた。第4章では、同国の初等教育で行われている授業ビデオ記録を修正版グラウンデッドセオリーアプローチ(M-GTA)を用い、同国の授業の一般的な特徴を明らかにした。第5章では、第3章で明らかにされた推論能力の問題を、有用となりうる授業手法を抽出した。第6章においては、前章で明らかにされた授業手法の観点から、第4章で明らかにした授業の特徴をとらえなおし、今後のバングラデシュの授業改善のための提言を行った。 以上のような内容を持つ本論文は、これまで同国においてとりいれられてこなかった国際比較調査の項目を用いることで児童の学習到達度を国際的な視点から評価し、また、推論能力の育成の点から、M-GTAを用いて学習到達度—授業分析を有機的に結びつけるという点が斬新であると言える 以上の内容から、本論文の著者は博士(教育学)の学位を授与される十分な資格があると審査委員全員一致で認められた。			